

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 1 月 29 日作成)

小委員会名	建築教育アウトリーチ小委員会		主 査 名：三輪律江 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会		委員長名：稲葉武司 主 査 名：
設 置 期 間	2007 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・ 建築学会の教育貢献活動の在り方の課題・問題について、「建築学」という専門教育が社会とのつながりをどうすべきか、社会に還元する在り方など、「建築教育」「地域交流・地域貢献」等の視点からの調査研究		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：三輪律江 (横浜国大)、幹事：藤岡泰寛 (横浜国大) 委員：小松 尚 (名古屋大) 宇野勇治 (愛知産大) 高橋 潤 (明治大・高橋潤建築設計事務所) 鈴木 明 (神戸芸工大)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2009 年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：作成準備中	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 昨年度大会研究懇談会での成果をもとに、地域一子ども・社会等への教育プログラムに関する情報収集を継続した。 2. ホームページ作成や刊行物等による成果の一般公表の方法について具体的に意見交換した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 一般から利用されるホームページの作成と、刊行物も含めた活動成果の公表

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。